

予算常任委員会

26年度予算

☆一般会計当初予算額は

前年度より4・9%増の
153億8,222万
3千円となる

歳出

▽議会費

対前年度比0・3%増の
1億8,920万4千円を計上

▽総務費

対前年度比25・6%増の
29億1,035万9千円を計上

【総務課】

【個人情報保護事業】

問 今年度委託料が360万円計上しているが、これだけでデータのベースの構築となるのか。

答 今回、予算計上しているのは、地域防災グループが所管する個人情報保護条例に基づ

く部分での予算計上であり、実際のナンバー制に伴う業務については、別の所管課が担当する。

【防犯灯設置事業】

問 LED化の推進が遅いと思うが。

答 方向性はLED化を進める。技術等の流れをみて段階的に続けて行く。

【政策課】

【移住・交流支援事業】

9万円

【定住化促進事業】

6,000万円

【縁結び事業】

問 縁結び事業の詳しい説明を。

答 市が主体に進めていく事業で、具体的に内容についてはこれから委嘱する支援員と相談しながら進めていく。

問 支援員はどういう方を認定しようとしているのか。

答 特定の年代でなく幅広く募集する必要がある。また、事業所からも推薦して頂けるようお願いする。

▽教育費

対前年度比17・4%減の
15億8,637万7千円を計上

【学校教育課】

【中学校環境整備事業】

問 引田中学校、大川中学校の

運動場防球ネット嵩上げ工事は、できたばかりの学校である、何か不備があったのか

答 当初予定していた以上に、練習等でボールが外に出るために安全性のため必要性があるということ、工事を行う。

【教育支援事業】

問 教育支援センター専門指導員の報酬は前年の倍になっているが1人でないのか、また指導員は専門的な知識も必要であるが、どういう内容の仕事なのか。

答 主な事業は、ネットワーク支援事業、フレンド教室で、専門員を各事業ごとに1名配置する予定。資格は社会福祉士、臨床心理士を持った専門員。

【土曜日授業運営事業】

問 この事業の実施回数が前回のモデル事業から半数である。

る。何が要因で半分になるのか。

答 今年度から実施する夏季休業日の短縮との関連で、土曜日の有効な活用や本来の目的に沿った形をとり、実施回数を10日間に予定した。

【生涯学習課】

【一般経費】

問 委託料の中で市の体育協会への委託料は814万円、文化協会の委託料は70万円であり、文化と体育との委託料の違いは。

答 委託料の金額の差が大きいのは、事実である。文化協会、体育協会とも幅広くみんなに活動していただくことが基本的なことであるが、どうしても不足する場合については解消する必要があると思っている。

【一般経費】

問 パペットランド指定管理委託料の算定根拠で電気代の消費税増税分と基本料金分の説明では、基本料金について83万円計上しているが、補正予算の時の説明と相違がある。

負担する130万円まるまる計上すべきではないか。また、すべての指定管理委託料の算定について市の考えは。

◎ 算定については、理論的におかしいことから次の機会に補正等の対応を考える。

指定管理制度のリスク分担について、市全体の問題となることから今後取扱について検討をする。

【コミュニティセンター運営事業】

◎ 相生のコミュニティセンター
一整備工事に体育館の屋根改修費用を計上しているが、耐震改修工事をした時に屋根の修繕はしなかったのか。

◎ 施工したのは体育館の屋根の回りの陸屋根部分であり、このシート防水部分を改修した。

【文化財保護事業】

◎ 委託料の中に引田城址試掘調査委託料等250万円とある。その調査の結果を踏まえて将来どのようにしていくのか。

◎ 城パーク構想の中で一応引田の古いまち並み、それから安戸池、引田城址、ランプロ

ファイヤー、その辺りまでを1つの城パーク構想で公園化の構想を描いている。県外のPR等も含め活用する方向で進める。

▽民生費

対前年度比8%増の47億5,731万6千円を計上

【子育て支援課】

【子育て支援一般事業】

◎ ファミリーサポートセンター
一事業は、本年度もほぼ同額の予算345万円が計上されている。昨年からはじまったが、どのぐらいの方が利用しているのか。

◎ 26年2月末の会員数は、42名で、その内、3名から5名が会員相互の活動をしている。

【福祉課】

【臨時福祉給付金事業】

◎ 通信運搬費が600万円余り計上されているが、1人当たり約860円掛かることになる。この積算根拠は。

◎ 申請の案内を返信用も含め

て郵便で3万通、民生委員等への協力依頼を600通で590万4千円となる。

◎ 3万通というのは、対象者でなくて全住民に通知するの

◎ 国の指導により全住民に通知する予算としている。通知については混乱が予想されるので6月の住民税が確定した段階でその対象者に通知する。

【敬老事業】

◎ 地域とする敬老会事業を今年も昨年並みと考えているのか。また、事業の内容は。

◎ 実施方法は12月に開催した反省会においても今年度と同じ方向性で実施することとなった。ただし、次期の自治会長と協議して決定する。事業内容については、均等割について検討しているところで、4月1日施行にむけて要綱を定める。

▽衛生費

対前年度比8・8%減の12億2,319万1千円を計上

【環境衛生室】

【フリースタイルセンター運営事業】

◎ 消費税の関係でごみの袋の単価はどうなるのか。

◎ 消費税が今回上がるが、現在のところ、ごみの袋の価格は変えない。今後さらに消費税が上がっていく場合さぬき市と協議し、考える。

【斎苑管理】

◎ 斎苑の業務全てを外部委託するが、受付の流れについて。

◎ 現在、動物の火葬業務については、受付を平日は環境衛生室で行っているが、休日については、午前8時半から9時半までの1時間を大内斎苑で受付を行っている。これを、26年度から大内斎苑で受付、受入れを行う流れとなる。人体は、通常どおり市役所のほうで受付するので、変更はない。

【霊園管理】

◎ 霊園管理事業の概要の中に、使用者不明墓地の管理すべき人を調査し適正な管理を促すとあるが、調査はできているのか。

◎ 管理者の調査は、25年度現

在から引き続いて継続して行く予定である。25年度に、白鳥霊園では28区画、三本松の墓地では44区画、引田の松原墓地では25区画の墓地に対し、使用者調査の札を設置している。

▽労働費
対前年度比91・7%減の
469万2千円を計上

▽農林水産業費
対前年度比14・4%増の
7億529万9千円を計上

▽商工費
対前年度比234・7%増の
6億538万2千円を計上

▽土木費
対前年度比10・6%減の
10億6,911万4千円を計上

【建設課】

【道路橋りょう維持事業】

⑧ 原材料支給事業の補助は25年度は、19件である。24年度に制度の見直しを行ってから、急激に減っているが、こ

れで良かったのか。

⑨ 地域の環境整備ということであったが、業者任せというふうな形になってきた。制度改正についての厳しい御意見等もあるが、26年度については今までもおりで行う。制度については、地域の方が取り組みやすい検討をする必要がある。

▽消防費

対前年度比15・2%増の
7億4,038万1千円計上

▽公債費

対前年度比11・6%減の
15億5,404万6千円を計上

▽諸支出金

対前年度比41・9%減の
1,686万2千円を計上

▽予備費

対前年度比1000%増の
2,000万円を計上

☆特別会計

△国民健康保険事業特別会計

対前年度比4・5%減の
45億1,709万3千円を計上

△介護保険事業特別会計

対前年度比1・6%減の
38億3,334万円を計上

△下水道事業

対前年度比3・6%減の
4億2,655万7千円を計上

△農業集落排水事業

対前年度比3・3%増の
2億7,982万4千円を計上

△介護サービス事業

対前年度比13・5%増の
2,980万9千円を計上

△後期高齢者医療事業

対前年度比0・7%減の
4億6,954万7千円を計上

☆水道事業会計

△東かがわ市水道事業

水道事業収益

7億3,095万円

水道事業費用

6億7,202万3千円

資本的収入

1億1,513万6千円

資本的支出

4億6,583万2千円

資本的収入額が支出額に対し不足する額3億5,069万6千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,181万4千円、当年度分損益勘定留保資金2億6,386万4千円及び建設改良積立金6,501万8千円で補填する。

